

展覧会スケジュール

開催月	展覧会
1月	
2月	企画展「備前市近代耐火物の始まり」 2月1日(土)～3月30日(日)
3月	
4月	
5月	
6月	収蔵品展「あのこと見たもの、いま見ているもの」(仮) 6月24日(火)～9月7日(日)
7月	
8月	
9月	
10月	テーマ展「陶にして、風貌を刻むー備前焼陶像と陶進舎の人々ー」 10月1日(水)～11月30日(日)
11月	
12月	
2026 1月	企画展「天下の大路“山陽道”を巡って ～旅情・三石編～」(仮) 1月20日(火)～4月5日(日)
2月	
3月	

学芸員のコラム

備前は建築陶器の産地でもあった・・・①

窯業のまち、備前。備前焼、耐火物は備前市の特色として広く知られていますが、“装飾煉瓦”という煉瓦をご存知でしょうか？建物の美観に用いられるもので、所々に壁面に細工されたものや、壁面に張付られた煉瓦を指します。これらは総じて大正 11（1922）年に「タイル」と名称を統一されています。

備前市伊部では、「備前陶器株式会社」によって明治 30 年代から本格的に陶製の建築材料として「テラコッタ」や「張付煉瓦」などを製造し、国内では先駆けとなりました。

最初に備前の装飾煉瓦が建築物に用いられたのは「三井銀行大阪支店」（M34）、「三井本館」（M35）の「軒蛇腹」。アメリカで既に多くの建築陶器が使用されているのを見て、国産の製造と実用を考えた鉄骨建築の先駆者 横河民輔（1864-1945）の肝いりで、花崗石に擬似した「テラコッタ」を発明、実用したのでした。



三井銀行大阪支店

建築写真類聚刊行会 編『建築写真類聚』第 1 期第 8 銀行会社、[洪洋社]、〔大正 9〕・国立国会図書館デジタルコレクション
<https://dl.ndl.go.jp/pid/962644>



三井本館

黒田勝心 編『東京百建築』、建築画報社、大正 4。
国立国会図書館デジタルコレクション
<https://dl.ndl.go.jp/pid/967150>



〒705-0022 岡山県備前市東片上 385 TEL/FAX 0869-64-4428

<https://www.city.bizen.okayama.jp/site/rekimin/>

開館時間/9:00～16:30

休館日/毎週月曜日・祝日の翌日 入館料/無料



備前市歴史民俗資料館 れきみんだより No. 6

発行日:令和7年1月

編集・発行:備前市歴史民俗資料館